



病院理念

私たちの力の全てを
心の悩みを持った方とご家族のために
～ All for our clients ～

基本方針

1. 私たちは、患者様おひとりおひとりの個性を尊重し、その心の理解に努め適切な援助を行います。
2. 私たちは、患者様とご家族が安心して利用していただける病院運営を行います。
3. 私たちは、常に技術向上をこころがけ全職員の連携を大切にします。
4. 私たちは、地域に開かれた精神医療を目指します。

患者様の権利に関する宣言とお願い

1. あなたはひとりの人間として、常にその人格、価値観などが尊重される権利があります。
2. あなたは社会的な地位や病気の種類などにより差別されることなく、良質の医療を受ける権利があります。
3. あなたは自分が受ける治療や検査について、理解しやすい言葉や方法で説明を受ける権利があります。
4. あなたは自分自身の治療などについて、自分の意見を述べ自ら決定する権利があります。
5. あなたは自分の健康状態・症状・診断等の個人情報やプライバシーについて保護される権利があります。

創刊にあたって



病院創立以来40年余り。今までもそしてこれからも、この瀬戸内の温暖な気候と豊かな自然に恵まれた江田島市で地域に密着した精神科医療を提供していく所存でございます。

現代社会に生きる私たちは情報化によって多くの利便を享受してきた反面、急速な時代の変化の中で自分自身を見失うほどの大きなストレスを受けているのも事実です。近年精神科分野における進化発展も目覚しく、お薬においても副作用が少なく効果の高いものが開発されています。それらを用いた薬物療法、精神療法、リハビリテーションなどの専門的な治療は勿論のこと、恵まれた自然環境の中でのストレスからの癒しの場、温かい心の交流による自分自身回復の場を提供できるよう、スタッフ一同努力していきたいと考えております。

この度当院機関紙「だんだん」を創刊するにあたって、江田島市唯一の精神科医療機関でもある私どもの取り組みを熱く、分かりやすい形で皆様にお知らせすることができるようになると期待しております。

これからも、より一層のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

吉田病院文化祭「紅葉の会」

平成19年11月17日開催

去る平成19年11月17日に吉田病院文化祭「紅葉の会」を開催しました。今回は地域の方にもご参加いただき屋外の特設会場での舞台となりました。

まずは、当院スタッフによるマジックショー。瞬間移動など大がかりなイリュージョンに拍手喝采。イベントには欠かせないこのショーは会を重ねる毎に盛大になっていっています。

次はカラオケ大会。患者様会場にお越しになられたお客さまの飛び入り参加の方も大歓迎・・・♪歌声が秋の空に舞い上がり、参加された皆様の歌い終わった後の表情も会場を明るくします。

午後からは地元・津久茂地区の方々によるコーラスと獅子舞。優しい歌声や伝統芸能に癒やされます。地域で受け継がれる文化の奥深さと、それを間近で見ることのできる幸せを感じました。

毎年実習に来られる江能准看護学生の合唱もあり・・・そしてアメリカからのゲスト(実際は職員と思われる)によるピリースフートキャンプと盛りだくさんの内容でした。

手前味噌ですが、スタッフによる屋台も豊富でしたよね？たこ焼き、カレー、うどんにジュース、フランクフルトにわたあめと・・・お勧めはもちろん『全部』ですよ♪お陰様で大盛況でした。フリーマーケットに喫茶店にショートケアによるアクセサリ販売、患者様の展示等こちらも要チェック！お客様の「何にしようかな？」と選ぶ姿、「ありがとう」の笑顔を見る度にあったかい気持ちになりましたよ。

ご参加頂いた皆様、ありがとうございました！



研修会報告

医療安全研修会

医療安全委員会では、年に2回全職員を対象とした研修会「医療安全研修会～インシデントレポートについて」を行なっております。

「インシデント」とは事故には至らなかったが、そのまま放置すれば重大な事故につながる可能性のある出来事のことです。「インシデント」を放置せず、情報を把握・分析するための報告書を「インシデントレポート」といいます。報告書を提出することで、“業務上改善の余地はないか”“事故の起こりやすい要因は何か”“起こりやすい事故の傾向と対策は何か”など安全性の向上に役立てることができます。

小さな出来事を点検することから学び、大きな事故を未然に防ぐための「インシデントレポート」の重要性が当院でも注目されています。職員が医療の安全性に対する意識を高め、質の高い医療の提供に更なる意識を向上させるきっかけとなる研修でした。

(医療安全委員会 坂根)

ショートケア室



“メンバーさんもスタッフもみんなで楽しめる場”

～ショートケアって何をするとおところですか？～

池上：こころの悩みをもつ方のための、地域での生活の向上と病気の再発防止を目的とした、精神科リハビリテーションを行うところおです。



スタッフの池上さん

～具体的にはどんなことしてるとおですか？～

池上：1日に2つのプログラムを実施してています。たとえば、リサイクル工作、園芸、折り紙、釣り、映画鑑賞などを行ってています。また、プログラムは自由参加なので、参加されないと自分のおしたいことを自由にして過ごされてています。たとえば、ゆっくと寝て過ごしたり、パズルをして過ごしたり。

～利用の手続きを教えてください～

池上：基本的には当院外来患者様が対象となります。診察の際に先生に利用の相談をして下さい。その後体験利用をしていただき、その後も利用可能であれば利用していただけます。ただし病院側の都合でお断り頂く場合もありますので、ご了承下さい。分からなければいつでも相談してくださいね。

～一番の人気プログラムは？また一番印象に残ったことは何ですか？～

池上：射的大会でしょうか。おもちゃの銃で的を狙うゲームです。みんないつも真剣です(^_^)印象に残っていることは釣りのプログラムですね。魚が釣れたときに見たメンバーさんの満面の笑顔で心に残ってます(^_^)あの笑顔を見るとこちらもお癒されました。ギザミやキス・カレイなどが釣れました。



ビーズアクセサリー作り



コースター作り



箸置き作り



釣り

～現在何人の方が利用されてますか？またどのような方が利用できるんでしょうか？～

池上：全体で約10名のメンバーさんが登録されてています。1日平均では3名くらいです。利用されている方は、日中することがないので時間を有意義に使いたい方・人付き合いが苦手でお人に慣れるために利用される方・自信が持てない、やる気が出ない方等様々です。気になる方はいつでも相談くださいね。

～医療費はかかりますか？昼食はでるんでしょうか？～

池上：医療費はかかります。昼食は1食300円で提供しててます。詳しくはご相談下さい。

～ショートケア何時間あるのですか？送迎はしてもらえるんですか？～

池上：10時から13時までの3時間です。また希望されるメンバーさんには送迎をしてています。江田島市内の方であれば送迎可能ですよ。

～最後に今後の意気込みをお願いします～

池上：メンバーさんもスタッフもみんなでお楽しめる場におできるよ頑張りますっ o(^_^)o



上田

池上

ショートケアスタッフ

職員紹介



看護部部長 山崎 里美



患者様とも考える看護

当院では昨年度から他職種が協働するチーム医療が本格的に始まりました。院内は日々明るく活気に満ち溢れているように感じられます。

看護部では、今年度の看護理念・目標を、「患者様・ご家族の方々とともに考え、その人らしい生活の向上に努める」を掲げ日々模索しながらも個別性を持った看護を目指しております。

ともに考える看護とは、患者様が納得できる目標をもとに看護計画を共に考え、実施、評価することでご本人が持っている健康的な面を拡大していくことです。又ご家族の方々との交流を深めお互いが情報交換をすることで患者様の回復に繋げることができればと考えております。ご意見、ご要望等を賜りたく思っております。

これからの看護はますます専門性が問われる時代が来ています。患者様ひとりひとりにあった看護を提供していけるよう自己研鑽に努めてまいります。

今後ともよろしく願いいたします。

★病院案内

住所 〒737-2126 江田島市江田島町津久茂2-6-2

電話番号 0823-42-1100 FAX 0823-42-1195

HP アドレス <http://www.yoshida-hospital.org/>

■診療科目

精神科/神経科/内科

■診療日

月曜日～土曜日（日祝休診）

■外来受付

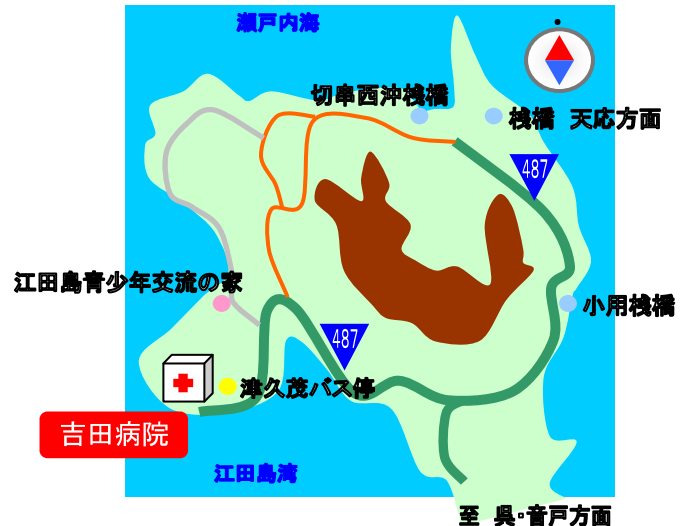
午前の部/9:00～11:30

午後の部/予約者のみ

■診療時間

午前の部/9:00～12:00

午後の部/13:30～17:00（予約者のみ）



★公共交通機関

■広島市内方面からは

・広島港から切串西沖棧橋行きの高速船に乗船

高速船 1 必要時間 20分

小用棧橋から吉田津久茂へ必要時間 10分 所要時間 15分

■呉市内方面からは

・呉中央棧橋から小用棧橋行きフェリーに乗船

フェリー 1 必要時間 115分

小用棧橋から吉田津久茂へ必要時間 10分 所要時間 15分

編集後記

「だんだん」と聞いて、何を思いますか？

私たちがイメージしたのは、島のあったかさ。坂道をゆっくりと登ってたどりつく、だんだん畑。出雲弁で「どうも」「ありがとう」という意味を持つ言葉…でした。

風光明媚な島に生きる私たちをありのままに、だんだんと皆さまに知って頂きたい。今までもこれからも感謝の意を込めて伝えたい…そんな思いで「だんだん」と名づけました。

まだまだ生まれたての私たちです。これからもじっくりと付き合い下さいませ。よろしく願いいたします。
吉田病院 広報委員会 一同